

(ヘッダーにはセッション名・発表時間などを入れますので空白でよろしく)

発表タイトル(文字サイズ14pt推奨)

発表者名(12pt推奨)
書きたければ所属も(10~12pt推奨)

キーワード・関連する素数:

キーワード2、キーワード3、キーワード5、キーワード7

1. 小見出し(はじめに 等)

本文。ここから本文を書きます。この先は基本的には2段組にしてください。発表タイトルと発表者名・所属以外の部分については、文字サイズは10.5ptを推奨します。フォントは、発表タイトルと「キーワード・関連する素数:」と小見出し部分をゴシック体にすることをオススメします。

最初の項ではイントロ的なことを書いてください。この研究がどう面白いのか、もしくはどんな場面で役に立つのかといったことを、客観的なふりして熱く語っていただければと思います。なぜ自分がこの研究をするに至ったかという経緯を書きいただいてもOKです。

過去の研究なんかも引用できたら素数ですね。じゃなかった、素敵ですね。

2. 小見出し(方法 等)

本文。通常はメソッドが入るところです。大したことはしていなかったとしても、使った道具・ソフトや手順を整理してきちんと書くだけで結構それっぽくなります。「この方法が画期的!」という話である場合を除き、ここはあまり長くなりすぎないようにしましょう。

3. 小見出し(結果 等)

本文。いよいよ、あなたが調べた結果を見せつける部分になります。どんな結果になったのか、時には図や表も駆使してまとめてください。

これは...!と思う結果であったとしても、いろいろ語れそうなら考察として次の項まで我慢しましょう。まずは淡々と結果を示してください。

4. 小見出し(考察 等)

本文。順調にいけばここに考察や結論が入ります。考察するようなことがなければ、まとめを書いてください。

場合によっては、要旨提出期日までに結果や結論が出尽くさない場合もあるかもしれません。それでも、細かい話は研究会当日に発表するとして、とにかく研究の軸になる部分をきちんと言葉にしましょう。イントロで提示した課題や問題点を回収することをお忘れなく。

あと、今更ではありますが、本文の文体は「ですます」より「である」調の方がかっこいいと思います。

5. 小見出し(おわりに 等)

本文。まとめとか?何か書くことがあればどうぞ。小見出しの数は自由です。ただし、ページ数は必ず1ページにおさめてください(Wordの仕様で白紙の2ページ目がついてしまうのは無視してOK)。双方向セッションでは、当日に議論したいことなど書いておくといいかもしれません。

最後に、誤字脱字がないか今一度チェックすることもお忘れなく!